

平成27年千葉市教育委員会会議  
第1回臨時会会議録

千葉市教育委員会

# 平成27年千葉市教育委員会会議第1回臨時会会議録

日時 平成27年3月11日(水)

午後2時00分開会

午後2時25分閉会

場所 教育委員会室

出席委員 委員長 和田 麻理  
委員 中野 義澄  
委員 内山 英夫  
教育長 志村 修

出席職員 教育次長 田辺 裕雄 教職員課長 伊藤 剛  
教育総務部長 米満 実 総務課人事・労務担当課長 武 大介  
学校教育部長 磯野 和美 総務課総括主幹 小名木啓一  
総務課長 石野 隆史

書記 総務課長補佐 山本 春樹 総務課主任主事 杉山 隆  
総務課総務係長 渡邊 実 総務課主任主事 佐久間暁子  
総務課人事係長 鴫田 昌奈 総務課主事 荒井 博行

- 1 開会  
和田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
過半数委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
和田委員長より中野委員を指名
- 4 会期の決定  
平成27年3月11日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認  
平成26年第2回臨時会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
報告第2号及び議案第10号を非公開審議とする旨決定
  - (2) 臨時代理報告  
報告第1号 条例案に対する意見について  
石野総務課長より報告があった。  
報告第2号 事務局等職員の処分について  
武総務課人事・労務担当課長より報告があった。
  - (3) 議決事項  
議案第10号 県費負担教職員の人事について  
伊藤教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
  - (4) 発言の要旨  
報告第1号 条例案に対する意見について  
和田委員長 総務課長、報告をお願いします。  
石野総務課長 報告第1号「条例案に対する意見について」、千葉市教育委員会組織規則第9条第1項の規定に基づき臨時代理により処理したので、同条第2項の規定に基づき報告します。  
前回の教育委員会会議で議決をいただき、平成27年第1回千葉市議会定例会に提出されました、「千葉市教育委員会委員定数条例等の一部改正」について、平成27年2月10日に、市議会から意見照会を受けました。



教職員課長 「県費負担教職員の人事について」、説明します。

当該議案は、平成27年3月31日付け及び同年4月1日付け千葉県立小学校、中学校及び特別支援学校の校長及び教頭の県費負担教職員の管理職人事発令について、千葉県教育委員会組織規則第8条第4号の規定に基づき、議決を求めるものです。

本年4月1日付けの管理職の人事発令においては、「平成26年度末及び27年度公立学校職員人事異動方針」に基づき、特に次の事項に配慮しました。

1つとして、大幅交代期を踏まえ、特に責任感と管理能力に優れ、高い識見を有した管理職の登用に努めたこと、2つとして、教育効果を高め、調和的な学校運営が行われるよう、適材適所の管理職人事を推進したこと、3つとして、女性管理職の登用については、積極的に推進したこと、なお、管理職登用に当たり、原則同一校での昇任は行っていません。

それでは人事異動一覧に基づき、「校長の部」から説明します。

まず退職ですが、「新宿小学校長 沼倉 徹」をはじめ、53人です。

内訳は、小学校38人、中学校15人であり、そのうち「院内小学校長 塙 久美子」をはじめ、6人の女性校長が退職となります。なお、定年退職校長51人の平均在職年数は4.2年です。

次に新任ですが、「千城小学校長 飯塚 清」をはじめ、50人を昇格させたいと考えています。

内訳は、小学校35人、中学校14人、特別支援学校1人です。新任校長のうち、最年少は、「小中台小学校長 中嶋 のり子」をはじめ、8人の54歳、最年長は「更科小学校長 水野 美由紀」をはじめ、20人の57歳です。また、新任校長の平均年齢は56.9歳です。

女性の登用ですが、新任校長は13人となります。なお、女性校長の全体の数は27人となり、昨年度より7人の増となります。

次に転出ですが、県との人事交流として、「現花見川第二小学校教頭 佐久間 武」が市原市立石塚小学校へ新任校長として赴任します。

次に採用ですが、こちらも県との人事交流により、「千葉県教育庁教育振興部指導課 主席指導主事 伊世 亮」を西の谷小校長として採用します。

次に配置換えですが、「本町小学校長 神尾 祝子」をはじめ、

21人です。

内訳は、小学校11人、中学校10人です。

次に再任ですが、教育委員会から再度、校長として学校現場に転任する者で、「新宿小学校長 遠藤 悟」はじめ、7人です。

この7人の校長相当職としての事務局在職年数は平均3.3年となっています。

次に「行政へ」ですが、校長から教育委員会事務局に入る者です。「現小中台小学校長 三橋 和生」はじめ、7人です。これらの者の平均年齢は55.1歳です。全員が、教頭時代に本市の教育委員会事務局を経験しています。

また、「現大森小学校教頭 尾後貫 智」がアムステルダム日本人学校の新任校長として転出します。

これまでが校長の異動です。校長の異動にあたっては、学校規模や学校の状況、また校長としての経験年数等を配慮するとともに、過去に勤務経験があり、学区を熟知している学校であるか、また研究指定校の有無や、生徒指導上の課題等を勘案しながら、これまでの経験や実績を踏まえて、適正配置に努めました。

また、特別支援学校や特別支援学級を設置している学校については、特別支援教育に長けた校長を配置するなどの配慮をしました。

次に、「教頭の部」について説明します。

まず退職ですが、「横戸小学校 内浦 勝之」をはじめ、5人です。

続いて新任ですが、「新宿小学校 伊藤 芳仁」をはじめ、53人です。

内訳は、小学校36人、中学校15人、特別支援学校2人で、昇格者の平均年齢は、51.7歳です。最年少は49歳で、「都賀の台小学校 八斗 孝之」をはじめ、8人です。最年長は57歳で、「緑が丘中学校 櫻井 智」となっています。

また、女性の登用ですが、「大森小学校 末吉 眞弓」はじめ5人です。これにより、平成27年度の女性教頭は今年度の29人から3人減り、26人となります。

次に転出ですが、県との人事交流を終え、「幕張南小学校教頭 高梨 秀胤」が、八千代市教育委員会青少年センター所長として転出し、新たな交流として「現上の台小学校教諭 小玉 理恵子」が、八千代市立村上北小学校の新任教頭として転出します。

また、「市原市立国分寺台西小学校教頭 池田 昌子」が蘇我小学校教頭として転入します。

次に採用ですが、千葉県との人事交流により「千葉県総合教育センター研究指導主事 大野 文昭」が生浜小学校教頭として採用になります。

次に配置換えですが、「寒川小学校 伊藤 浩之」をはじめ、17人です。内訳は、小学校6人、中学校11人です。

校長の配置換えと同様に、経験年数、教科等の専門性、学校規模等、様々な要件を考慮し、適材適所の配置に努めるとともに、新任の教頭については、校長経験者との組み合わせ、そして、教頭経験者については、新任の校長と組み合わせるなど、校長・教頭の経験年数に応じてバランスのとれた配置となるよう配慮したところです。

最後に「行政へ」ですが、教頭職から教育委員会事務局等へ異動する者で、「現新宿小学校 山崎 二郎」はじめ、13人で、これらの者の平均年齢は52.5歳です。

最後に、「現貝塚中学校主幹教諭 百瀬 幸徳」がマニラ日本人学校の新任教頭として転出します。

今後の予定ですが、県費負担教職員については、3月13日（金）に内示を行い、3月27日（金）に県教育委員会とともに記者会見を行い、3月28日（土）の朝刊に人事異動一覧が公表される予定です。

なお、3月30日（月）に新宿中学校において、平成26年度末の辞令交付式及び退職者顕彰式を行う予定になっています。

また、参考資料として、管理職の推移について、この5年間の校長・教頭・女性管理職の登用状況を載せています。

委員 女性校長・教頭についての話がありましたが、ここ数年感じる事なのですが、女性だからというわけではありませんが、大変立派な人物であるのだろうと思います。安心してお任せできると思っています。これからもぜひ期待したいと思います。

委員 長 昨年のことを少し忘れてしまったのですが、校長の配置換えについて、昨年人数が少なかったのは、何か理由がありましたよね。

教職員課長 先ほど申し上げたとおり、校長と教頭、教務主任も含めてですが、そのあたりのバランスを考えて行いますので、昨年度、校長の配置換えについてはその辺も配慮した結果、5人ということ

非常に少なくなっています。

委員 長 今年は、そのような不都合、不都合と言ってはなんですが、例年通りに配置換えができるような状況になったという事でしょうか。

教職員課長 そうです。

委員 海外の日本人学校に校長や、教頭として行かれるのは何か決まりがあるのですか。定期的に千葉市から行っているのですか。

教職員課長 日本人学校については、一般教諭で日本人学校を希望する者が選考等を受けて、基本的には3年間ですが、日本人学校に行くようになっています。今回、尾後貫教頭と百瀬主幹教諭は希望し、2人とも校長・教頭の名簿に登載されていますので、その職として希望し、人選されたということになります。

委員 長 これは文科省からの委嘱となるのですか。

教職員課長 そうです。

委員 長 この海外の日本人学校に行かれた教員は、その任期が終わると千葉市に戻って、千葉市の教員として勤務するということですよ。

個々の教員の異動については、事務局で十分に考えていると思います。全体として、校長の退職者数が多い状況がまだこの後も続くと思いますので、今回に限らず長期的な展望をもって、人事の異動など適正な配置を行うよう引き続きお願いします。

## 8 閉会

和田委員長より閉会を宣言